

平成 18 年 10 月 21 日 (土) ~ 24 日 (火) 開催



マスターズ陸上競技



「スポレクいわて 2005」では、98 歳の選手も出場！

「マスターズ陸上競技」は、男子が 40 歳から 79 歳まで 5 歳ごとの 8 クラスと 80 歳以上のクラスを合わせた全 9 クラス、女子が 35 歳から 69 歳まで 5 歳ごとの 7 クラスと 70 歳以上のクラスを合わせた全 8 クラスで競技を行います。種目はリレーを含むトラック競技とフィールド競技で、中には男女混合で行うリレーやボール投げなどの種目もあります。陸上競技は、スポーツの基本である「走る・投げる・跳ぶ」というシンプルな競技です。そのため、誰にでも気軽にできるスポーツでもあり、自分の体力に合った種目や得意な競技で出場ができます。



鳥取陸上競技協会
ひらの ひろゆき
平野 宏幸 さん

大会参加者は、初心者から以前に全日本レベルで活躍された人まで、経歴はさまざまですが、自分の得意とする種目で持てる力を発揮しながら、競技を楽しんでいます。昨年の大会では、最高齢男子 98 歳、女子 79 歳の選手が出場されました。

競技を終えて、選手が力を出し切った後のさわやかな雰囲気を感じます。参加選手のはつらつとした姿を会場でご覧ください。

競技を終えて、選手が力を出し切った後のさわやかな雰囲気を感じます。参加選手のはつらつとした姿を会場でご覧ください。

問い合わせ先 全国スポーツ・レクリエーション祭推進室
(文化センター内・吉方温泉三丁目) ☎(0857) 27-8001

鳥取城跡の保存整備がはじまります

2 月 28 日、検討委員会から報告書が提出され、鳥取市の「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画」が決定しました。今後、鳥取市は、この基本計画に基づき、順次鳥取城跡の保存整備に取り組んでいきます。

基本計画では、30 年間という長期の整備期間を設定していますが、これは単なる「工事期間」ではなく、利活用しながら成果を積み上げていく、大切な期間として位置付けています。初年度である平成 18 年度には、保存整備実施のための基礎調査や関係機関などとの調整など、計画の具体化に取り組む一方で、パンフレット作成などによる広報の充実や見学会など市民を対象にした事業を立ち上げる予定としています。

鳥取城を活用した市民参画によるソフト事業の展開の重要性は、最終的な取りまとめを行った 2 月 10 日の検討委員会においても、各委員から指摘されたところであり、久松山の本当の魅力を引き出すためにも、市民のみなさんの参画は不可欠と考えています。

「日本 100 名城」にも選ばれた鳥取城。市民のみなさんの協力により、その保存活用は進められていきます。

※「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画」と検討委員会の議事録は、鳥取市ホームページ(21 ページ参照)で公開中です。

問い合わせ先 市役所本庁舎 文化財課
☎(0857) 20-3367

医療通信

Vol.36 脳ドックのススメ

脳梗塞、クモ膜下出血などの脳血管障害の特徴は、「前兆もなく突然にやってくる」ということです。10 分前には元気な姿だったあなたが、突然襲ってきた脳血管障害によって社会復帰はおろか、重篤な後遺障害を負って余生を過ごさなければならないという可能性もあるわけです。そのような危険性を少しでも回避するためには、早期発見・早期予防が大切です。そこで、脳ドックの受診をお勧めします。では、いったい脳ドックはどのような人が受けるべきなのでしょう。年齢に関係なく、自分の健康が心配という人はもちろんですが、日本脳ドック学会では以下のとおり推奨しています。

- 1 脳ドックの積極的な対象は中・高齢者が望ましい。
- 2 脳卒中の家族歴、高血圧、肥満、喫煙などの危険因子を有するハイリスク群について重点的に受診を勧める。

では、脳ドック受診によって、何がわかるのでしょうか。クモ膜下出血の原因である脳動脈瘤の存在、脳梗塞の原因である頭頸部血管の狭窄病変、無症候性脳梗塞の有無が判明し、今後の健康管理の指針に役立ちます。

当院での脳ドック受診の現状は、人間ドック受診者が年間約 4000 人であるのに対し、脳ドック受診者は 600 人足らずで、まだまだ一般に浸透しているとは言い難い現状です。しかし、突然の脳血管障害に襲われる危険性を考えれば、特に前記に該当する人は、脳ドックを受診されることをお勧めします。脳血管障害は、前兆のない非常に恐ろしい病気ですが、正しく対処すればある程度の予防が可能な病気であると考えます。みなさんの脳ドック受診をお待ちしております。



坪井 俊之
市立病院 脳神経外科 医員

問い合わせ先 市立病院総務課 ☎(0857) 37-1522